

環境マネジメント体制

環境活動への風土づくり

環境活動を推進するにあたり、全社的な目標を明確に定め、JR東日本グループの社員それぞれが主体的に環境活動に取り組むことが重要であると考えています。このような社員が主体的に取り組む風土を構築するため、各職場において環境活動を推進する「JR東日本エコ活動」の全社展開や環境教育による指導者の育成、環境表彰による優れた取り組みの共有化などを通じて、環境活動の裾野の拡大に取り組んでいます。

また、代表取締役社長を委員長とする「エコロジー推進委員会」を1992年に設置し、事業活動に伴う環境負荷調査、環境目標の設定、環境保全活動の実施、目標達成度の確認、経営層によるチェックなどを行っています。

環境経営推進室の設置

地球環境問題に積極的かつ長期的に取り組む体制を強化するため、2010年7月1日付で経営企画部に「環境経営推進室」を設置しました。環境経営推進室では、各種の環境法令への対応、社員一人ひとりの環境意識向上を図るための社員教育、グループ全体の環境戦略の策定等について取り組んでいきます。

■ JR東日本の環境マネジメント推進体制(2010年7月1日現在)

